

一般財団法人ニチレイ MIRAIterrace 財団

2022 年度 事業計画書

当財団は、近年のライフスタイルの多様化や少人数世帯の増加など食と健康を取り巻く環境に大きな変化が生じており、日々の食事における栄養摂取の偏りが深刻化する中で、「食」と「健康」に関連する社会課題に対して中長期的な観点で取り組み、ニチレイグループが目指す豊かな食生活と健康増進を実現するために設立致しました。

設立初年度となる 2022 年度は、当該事業計画書に基づき活動を推進するとともに、食と健康に関連する様々な課題に取り組まれている関係者の皆様と連携し社会課題の把握と解決にむけて取り組んでまいります。

1、事業内容

(1) 食支援や居場所づくりに取り組む団体への支援

(目的)

食を通じた社会課題を解決することは、健康に良い影響を与えるだけでなく、豊かな人生を送ることに繋がります。当財団では、食を通じて子どもをはじめお年寄りの居場所づくりに取り組まれている団体と連携し食支援活動を推進します。

(実施すること)

- ① 「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム (※①)」プロジェクトへの参画
子どもから高齢者、都市から中山間地まで食に関する多様な社会課題を解決するために民・官様々なセクターが連携してコレクティブインパクト (※②) の創出を目指すプロジェクトであり、食支援活動を推進するうえで必要なインフラ整備および運営に必要な費用を助成します。

(※①) 「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム」とは

全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム。食支援を行う団体や自治体から、食品寄贈が受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点を全国に整備し、流通をサポートする WEB システムの開発や、企業・行政への学習会などを開催している。

(※②) コレクティブインパクトとは

単なるコラボレーションではなく、NPO や企業、行政などの枠を超えて、共通のビジョンをもとに協力し合うこと

② 冷凍冷蔵庫の購入費用の支援

冷凍食品などを寄贈する場合、寄贈先となる団体や施設での冷凍冷蔵庫の保有有無が影響するため、業務用冷凍冷蔵庫やショーケースの製造業者であるフクシマガリレイ様と連携し、子ども食堂等の施設に対して、冷凍冷蔵庫の購入費用を支援します。

(2) 災害発生被災地（国内）への支援

(目的)

災害被災地域の住民の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるよう支援致します。

(実施すること)

日本赤十字社にて国内災害義援金の受付が開始された場合、一律 100 万円の義援金を実施します。

2、当年度助成計画

助成金総額 1,100 万円

(※) 財団の事務局は、株式会社ニチレイより事務支援を受けています。

2022 年度収支予算書

単位：円

科目	予算額	備考
(基本財産)		
寄付金	12,700,000	
基本財産の振替額	3,000,000	
【経常収益】	15,700,000	
(事業費)		
支払助成金	11,000,000	
旅費交通費	220,000	
雑費	1,480,000	
【経常費用】	12,700,000	
当期収支差額	3,000,000	
次期繰越収支差額	3,000,000	

以上